

第4回 浪江町復興計画【第三次】策定委員会議事録

日時：令和3年1月19日(火) 13:30～16:00

場所：浪江町役場本庁舎2階大会議室

参加：検討委員 14名

川崎委員、佐藤(秀)委員、石井委員、和泉委員、大波委員、佐々木委員、佐藤(幹)委員、清水委員、新谷委員、末永委員、鈴木委員、前司委員、牧野委員、山田委員

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 浪江町復興計画【第三次】(案)について

事務局説明

(川崎委員長)

復興計画第一次、第二次におけるパブリックコメントの件数を教えてもらいたい。

→ (企画財政課)

第一次についてはすぐには答えられないが、第二次の回答数が115名であったのに対し、今回は307名であった。ご意見については、前回は320件であったのに対し、今回は460件であった。

→ (川崎委員長)

パブリックコメントは前回と同じ方式で行ったのか。

→ (企画財政課)

前回と同じ方式で行った。町民が町の計画に対し、高い関心を持っているようである。

→ (川崎委員長)

町民の関心が高いことはよいことである。

(鈴木委員)

本編P.44に、「〇月にグランドオープン」と記載されているが、答申時点では「3月グランドオープン予定」というような表現が適切ではないか。

→ (企画財政課)

ご指摘の通り修正する。表現の仕方は工夫したい。

(鈴木委員)

本編 P. 63 について、震災前にあった商店などの中で、浪江町で再開したいと考えている事業者数を把握しているのか。

→ (産業振興課)

商工会や官民合同チームによるヒアリング・個別訪問の結果を伺っている。数件という状況である。想いを持っている方は多いと伺っているので、具体的な絵姿を示していきたい。

(鈴木委員)

素案は簡潔にまとまっており、よくできた計画であると思う。

数年後には、現状と計画にズレが生じるだろう。答申案の 2 に、評価・検証、見直しについて記載されていることは評価したい。

(佐藤 (秀) 委員)

行政区の見直しは必要であるが、活発な行政区もあればそうでない行政区もある。それをいきなり、再編することは難しいと思う。実情に合った行政区の見直しが必要であると思う。

(新谷委員)

広報における町長の新年のあいさつで水素のまちづくりを謳っていたので、水素のまちづくりをはっきりと出した方がよいのではないか。

→ (企画財政課)

水素のまちづくりについては、本編 P. 40, 41 に記載している。本編 P. 73 目・P. 74 でも記載している。

→ (新谷委員)

わかりました。

(前司委員)

本編 P. 71 に記載されている消防団について、再編しなくてはならないと思っている。消防屯所の解体が進んでいると思うが、これから新たに整備するのか知りたい。

双葉町や大熊町は、廃炉作業や廃棄部物の中間貯蔵を行っているが、浪江町はそこには携わらないのか。飯館村では、廃棄物を長期で保管する場所を村内で作った。そのようなことを考えているかを知りたい。

→ (総務課)

消防団再編については、消防団再編会議で議論を行っている。帰町後に、役場職員で構成する第 7 分団を設立した。現在は、第 7 分団中心に対応を行っている。

る。全体の再編は必要であると考えている。

消防施設の解体・存続については、各分団の意向を確認して進めている。本編 P. 68・69 に記載しているように、旧町村単位での防災コミュニティセンターの整備を進めており、今後の消防活動の拠点となる予定である。

→ (企画財政課)

町独自の中間貯蔵や最終処分場については、現在検討されていない。

(川崎委員長)

最終チェックを委員長が行い、事務局を通して最終案をお伝えすることでよいか。

→ (一同)

よい。

(2) 答申案について

事務局説明

(鈴木委員)

第2段落目で「お願いいたします」と記載されているが、答申としてふさわしくないのではないか。言い切った形にするべきである。

(川崎委員長)

事務局と協議し、修正を検討する。最終チェックを委員長が行い、事務局を通して最終案をお伝えすることでよいか。

→ (一同)

よい。

4 その他

(企画財政課)

本日が最後の委員会となる。1月26日に、委員長と副委員長が代表して、町に答申いただく予定である。

5 閉会

—以上—